

政策評価調書（個別票1）

【政策ごとの予算額等】

政策名		北米地域外交				
評価方式		総合 実績 事業	政策目標の達成度合い	今年度はモニタリングのみのため、5段階達成度合いは記載できない。	番号	②
		23年度	24年度	25年度	26年度	27年度概算要求額
予算 の 状 況	当初予算（千円）	341,993	292,519	297,427	275,593	625,053
	補正予算（千円）	0	26,730	△ 107	0	
	繰越し等（千円）	0	135,270	0		
	計（千円）	341,993	454,519	297,320		
	執行額（千円）	296,552	429,083	291,175		
政策評価結果の概算要求への反映状況		<p>平成25年度は日・北米諸国が直面する政治面での共通の諸課題についての両国政府間の緊密な連携を一層強化していくという施策目標の達成に向けて相当な進展があった。米国については、日米の首脳・外相を始めとする様々なレベルでの意見交換を累次の機会に実施し、安全保障、経済、文化・人的交流といった分野で日米同盟を一層強化するための方策について議論を深めている。また、二国間の課題のみならず、朝鮮半島情勢や中国との関係などのアジア太平洋地域情勢やシリアの情勢への対応やウクライナをめぐる問題といったグローバルな諸課題について、両政府間で緊密に連携してきている。カナダについては、首脳間で政治分野において協力を深めたほか、民間有識者を含む重層的な対話・交流を推進した。引き続き、日米・日加両国が直面する政治面での共通の諸課題についての両国政府間の緊密な連携、及び民間有識者を含む様々なレベルでの日米・日加間での対話・交流を一層強化していくため、必要な予算要求を行っていく。（北米一）</p> <p>平成25年度の政策評価書のとおり、日米・日加の持続可能な経済成長に資する各種の政策分野での協調を推進する必要がある。米国については、日米首脳会談・外相会談等の機会をとらえた具体的成果を積み上げ、日米間の各種経済対話を実施するとともに、TPP協定交渉と並行して行われる、日米間における交渉を行う等、米国とともに地域における高いレベルの貿易・投資ルールを主導していくことが重要である。また、カナダについては、日加首脳会談・外相会談等を通じた日加経済関係の強化及び日加経済枠組みに基づく日加経済関係の強化、TPPや日加EPA交渉を通じた日加経済関係の進展に努めていくため、必要な予算を計上する。（北米二）</p> <p>平成25年度においては米国との安全保障分野での協力が一層推進され、施策の目標達成に向けて進展があった。引き続き、日米安全保障条約に基づく日米安全保障体制の信頼性を一層高めつつ、在日米軍の活動が施設・区域周辺の住民に与える負担を軽減し、在日米軍の安定的な駐留を確保していく施策を継続的に検討・実施するため、平成27年度においても必要な予算要求を行う。（北米保・北米地）</p>				

政策評価調書（個別票2）

【政策に含まれる事項の整理】

政策名	北米地域外交					番号	②			(千円)
	予 算 科 目							予 算 額		
	整理番号	会計	組織／勘定	項	事項	26年度 当初予算額	27年度 概算要求額			
対応表において●となっているもの	●	1	一般	外務本省	地域別外交費	北米地域外交に必要な経費	258,761	442,771	△ 91,580	
	●	2	一般	在外公館	地域別外交費	北米地域外交に必要な経費	16,832	182,282	△ 708	
	●	3								
	●	4								
	小計						275,593 <〇〇,〇〇〇> の内数	625,053 <〇〇,〇〇〇> の内数	△ 92,288	
対応表において◆となっているもの	◆	1								
	◆	2								
	◆	3								
	◆	4								
	小計						〇〇〇,〇〇〇 <〇〇,〇〇〇> の内数	〇〇〇,〇〇〇 <〇〇,〇〇〇> の内数		
対応表において○となっているもの	○	1					< >	< >	/	
	○	2					< >	< >	/	
	○	3					< >	< >	/	
	○	4					< >	< >	/	
	小計							の内数	の内数	/
対応表において◇となっているもの	◇	1					< >	< >	/	
	◇	2					< >	< >	/	
	◇	3					< >	< >	/	
	◇	4					< >	< >	/	
	小計							の内数	の内数	/
合計						275,593 の内数	625,053 の内数	△ 92,288		

政策評価調書（個別票3）

【見直しの内訳・具体的な反映内容】

政策名	北米地域外交				番号	②	(千円)
	事務事業名	整理番号	予算額				
26年度当初予算額			27年度概算要求額	増減			
対米加外交政策費	●	1	10,786	7,925	△ 2,861	△ 2,861	モニタリング結果を踏まえ、効率性の見直し（単価の見直し等）により経費削減を図り、予算の減額要求を行った。
マンスフィールド研修計画（日米行政官交流計画）	●	1	1,822	1,438	△ 384	△ 384	モニタリング結果を踏まえ、効率性の見直し（単価の見直し等）により経費削減を図り、予算の減額要求を行った。
硫黄島日米合同慰霊顕彰式に出席する政府・国会関係者等の渡島経費	●	1	14,870	14,424	△ 446	△ 446	モニタリング結果を踏まえ、効率性の見直し（単価の見直し等）により経費削減を図り、予算の減額要求を行った。
若手教員米国派遣交流事業	●	1	149,427	63,918	△ 85,509	△ 85,509	モニタリング結果、予算執行調査結果を踏まえ、事業内容の見直しにより経費削減を図り、予算の減額要求を行った。
対日理解促進プログラム経費	●	1	2,392	1,593	△ 799	△ 799	モニタリング結果を踏まえ、効率性の見直しにより経費削減を図り、予算の減額要求を行った。
沖縄事務所運営経費	●	1	39,603	40,289	686	△ 155	執行状況を踏まえ、セミナーの回数減による講師謝礼の減額や、消耗品費や公用車駐車場代の見直しによる減額を行った。
在日米軍の兵力態勢再編に関する協議関係経費	●	1	9,807	9,635	△ 172	△ 1,283	出張者数や出張回数の見直しによる減額を行った。
在日米軍オリエンテーション・プログラム開催経費	●	1	1,684	1,663	△ 21	△ 97	執行状況を踏まえ、食事の単価の見直しや、通訳謝金の日数見直しにより減額を行った。
在日米軍と地方自治体との相互理解増進事業	●	1	2,407	2,390	△ 17	△ 46	通訳謝礼、タクシー代、食事代の単価見直しにより減額を行った。
在米公館長等と在米日系人リーダーとの会合経費	●	2	5,389	5,224	△ 165	△ 165	モニタリング結果を踏まえ、効率性の見直し（単価の見直し等）により経費削減を図り、予算の減額要求を行った。
在加日系人リーダー招へいプログラムに関連する経費	●	2	156	139	△ 17	△ 17	モニタリング結果を踏まえ、効率性の見直し（単価の見直し等）により経費削減を図り、予算の減額要求を行った。
在加公館長等と在加日系人リーダーとの会合経費	●	2	949	708	△ 241	△ 241	モニタリング結果を踏まえ、効率性の見直し（単価の見直し等）により経費削減を図り、予算の減額要求を行った。

事務事業名	整理番号		予算額			政策評価結果の反映による見直し額(削減額)	政策評価結果の概算要求への反映内容
			26年度当初予算額	27年度概算要求額	増減		
対米加外交政策費	●	2	3,117	2,906	△ 211	△ 211	モニタリング結果を踏まえ、効率性を見直し(単価の見直し等)により経費削減を図り、予算の減額要求を行った。
米軍との連携強化費	●	2	238	164	△ 74	△ 74	執行実績を踏まえ、単価の見直しによる減額を行った。
合計						△ 92,288	